



第1回 大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会 の審議概要公表について

北陸地方整備局信濃川河川事務所は、大河津可動堰改築事業において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者から意見・助言を頂くため、「大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会」を下記のとおり開催しましたので、その審議概要を公表します。

- 開催日時 平成20年9月12日（金） 14:00～16:00
- 開催場所 北陸地方整備局 信濃川河川事務所（3階会議室）
- 審議結果
 - 委員会規約等について
 - ・委員会設立趣旨及び規約について事務局案を了承。（別紙のとおり）
 - ・委員長として、新潟大学名誉教授の西澤委員を選出。
 - 事業の進捗状況及びコスト縮減計画について
 - ・平成25年度完成までの全体計画及び平成20年度事業計画、平成21年度事業予定を説明。
 - ・コスト縮減の実施状況及び今後の計画について説明。
 - ・コスト縮減計画については縮減率を報告すること。
 - ・各委員からの意見を踏まえ、引き続き可動堰改築事業を効果的、効率的に進捗させるよう、コスト縮減に努め、事業費、工程管理に努力すること。
 - その他
 - ・次回は、平成21年4月頃に開催することです。

取扱い

本資料の発表をもって解禁とする。

同時記者発表クラブ

長岡市政記者会
週旬刊記者会

【問い合わせ先】

◆ 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
副所長（技術）弘田 英人 TEL：0258-32-3020
計画課長 村田 文人 TEL：0258-32-3245

大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会 設立趣意書

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに越後平野の洪水氾濫防御や水利用に大きな役割を果たしてきました。しかし、建設以来70年以上が経過し、施設の老朽化による堰基礎下部の空洞化や堰上下流の河床低下の進行により安全性が低下したため、平成15年度より大河津可動堰特定構造物改築事業として新たな可動堰の建設に着手し、平成25年度を目途に完了させる予定です。

このような大規模な事業を効率的・効果的に実施するため、国土交通省では、コスト縮減策やその実施状況、工事の進捗状況等について、第三者の意見を求め、一層の事業費・工程管理の充実を図ることとしております。

これらを踏まえ、信濃川河川事務所では、大規模改良工事である大河津可動堰特定構造物改築事業の事業費、工程等の事業監理について、学識経験者等の第三者から意見・助言を頂くため、「大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会」を設立するものです。

「大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会」規約

(名称)

第1条 本会の名称を「大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会」（以下、「委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 委員会は、大河津可動堰特定構造物改築事業における適切な事業執行の観点から、事業費、工程等の事業監理について、学識経験者等の第三者から意見・助言を得るために設置し、もって事業の適正な執行に資することを目的とする。

(任務)

第3条 委員会は、次の事項について審議を行い、事務所に意見・助言を行う。

- 一 事業監理（事業費、工程等）の実施状況
- 二 コスト縮減の取組み状況
- 三 その他委員会が必要と認める事項

(委員)

第4条 委員会は、別表に掲げる委員により構成する。

- 2 委員は北陸地方整備局信濃川河川事務所長（以下「事務所長」という。）が委嘱する。
- 3 委員の任期は、大河津可動堰特定構造物改築事業の完成までとする。
- 4 委員の氏名及び職業は公表する。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置くこととし、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は委員会を代表し、会務と進行を統括する。
- 3 委員長が職務を遂行できない場合は、委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、事務所長が招集する。

- 2 委員会は、原則として毎年度第1四半期に開催する。
- 3 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 4 委員会は、原則非公開とするが、委員会の開催結果の概要については公開する。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、北陸地方整備局信濃川河川事務所に置く。

(雑則)

第8条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則

この規約は、平成20年9月12日より施行する。

【別 表】

大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属・役 職	分 野
西澤 輝泰	新潟大学 名誉教授	経 済
細山田 得三	長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授	河川工学
丸井 英明	新潟大学 災害復興科学センター 教授	防 災